

平成30年度 ひだか病院新改革プランの点検・評価

1. 総論

平成30年度は、救急科を開設したこと、地域医療枠の医師を採用増員したことによる人件費を含めた費用などは前年度より増加したが、積極的な医師採用が救急受入件数の増加に繋がり、そのことが結果的に入院患者数増・病床稼働率の上昇にも結び付き、昨年度と比べ入院収益の大幅な増額になった。
一方、費用等に関しては人件費の増額や入院患者数増に伴う材料費の購入費用増、高額な減価償却費の影響もあり、収支決算においては経常損益を計上することとなりました。当初作成したプランの数値17項目中11項目が未達成でありました。しかしながら、損益額は昨年度に比べ332,720千円を減額しており、患者数や比率においても目標数値により近づけています。

2. 改革プラン進捗状況

(単位：百万円、人、%)

項目	平成30年度 新改革プラン	平成30年度実績	差	達成状況	備考
医業収益 ①	6,528	6,011	▲ 517	×	
経常収益 A	7,597	6,946	▲ 651	×	
医業費用 ②	7,513	6,931	▲ 583	○	
うち職員給与費	4,311	4,198	▲ 113	○	
うち材料費 ③	1,708	1,446	▲ 261	○	
うち減価償却費	465	540	75	×	
経常費用 B	7,937	7,393	▲ 544	○	
経常損益 (A-B)	▲ 340	▲ 447	▲ 108	×	
経常収支比率 (A/B×100)	95.7	94.0	▲ 1.8	×	
医業収支比率 (①/②×100)	86.9	86.7	▲ 0.2	×	
材料の対医業収益比率 (③/①×100)	26.2	24.1	▲ 2.1	○	
病床稼働率 (許可病床数)	79.7	79.2	▲ 0.5	×	
1日当たり入院患者数	295	298	3	○	
1日当たり外来患者数	652	648	▲ 4	×	
救急受入患者数 (時間外・休日)	6,765	5,921	▲ 844	×	
紹介率	35.9	27.4	▲ 8.5	×	
逆紹介率	29.3	25.6	▲ 3.7	×	